

VOLUME.

1

【漫画】小宮利公

【原作】笑うヤカン

キャラクター原案○新堂アラタ

ガールズコミックス

# 魔王の始め方

THE COMIC

試し読み版

# CONTENTS

valkyrie comic series - how to book on the devil the comic  
comicwork by komiya toshimasa - story work by warau yakan  
presented by kill time communication

## 1

❖ Step.1	5
❖ Step.2	55
❖ Step.3	81
❖ Step.4	111
❖ Step.5	139
❖ Step.6	165

この日

自分を

裏切った

ものを

絶対に

許さない





Step. 1





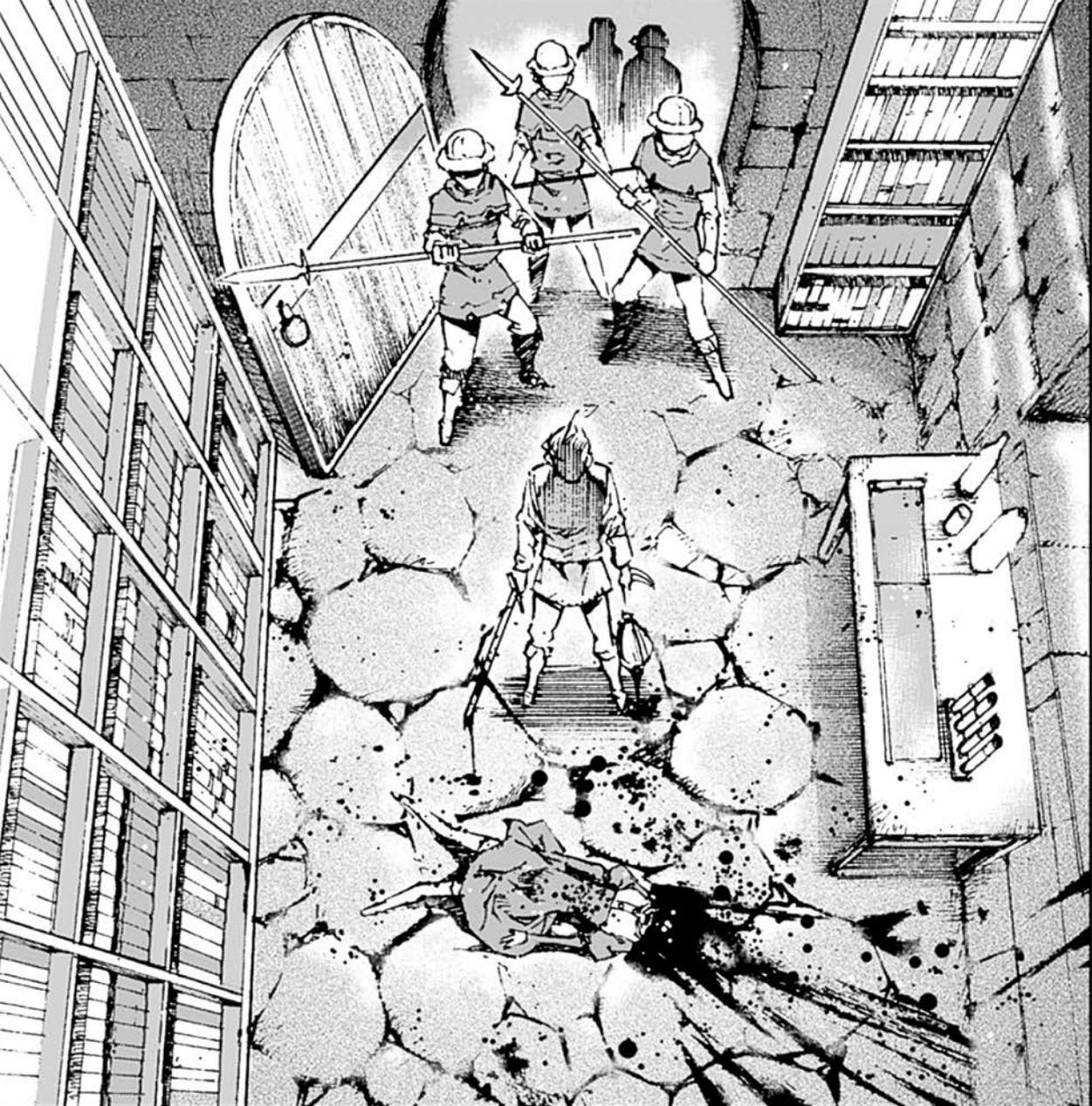
動くな



手をあ…



!?



数十年後







ふ...

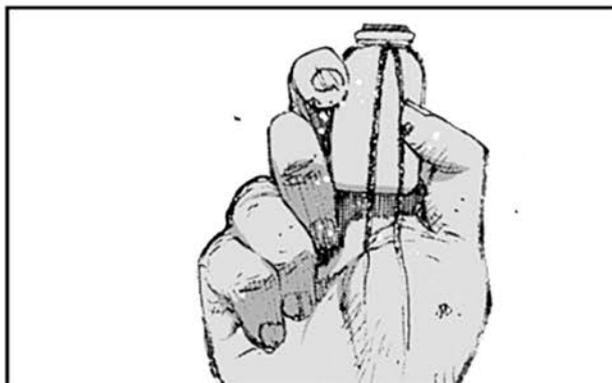


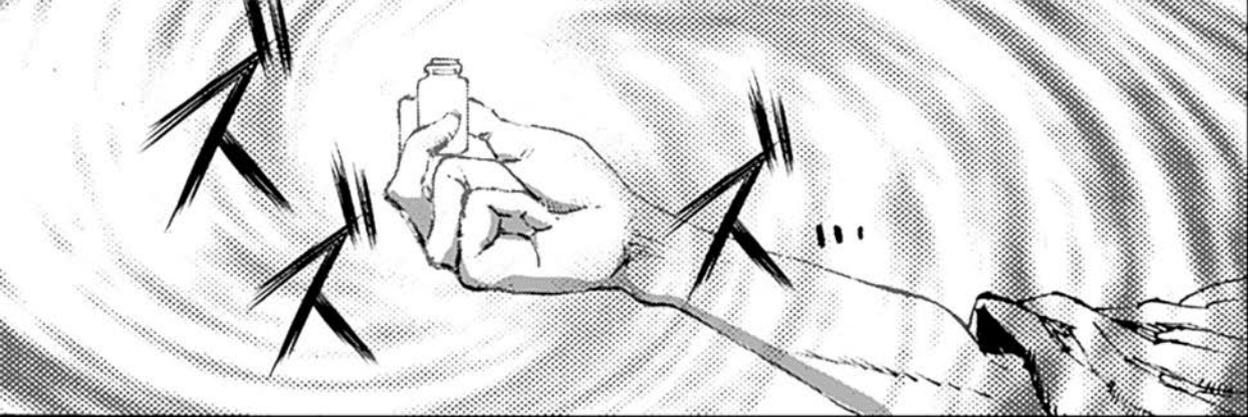
やった!

ハッ

フハッハハッハハ

この味わいさえ感じる  
ほどの芳醇な魔力!  
遂に見つけ  
出したぞおおお!





素晴らしい…  
これだけあれば…

おお…

視認さえできる  
高濃度の  
魔力の結晶…



素晴らしい  
魔力の結晶…

素晴らしい  
魔力の結晶…

素晴らしい  
魔力の結晶…











あとはこの  
殺風景な  
空間だ



ふむ

これで当分は  
持つだろう



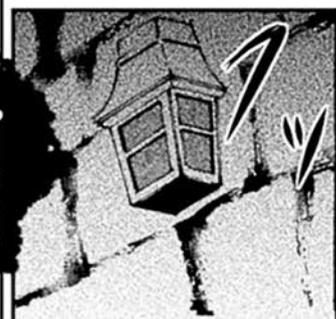
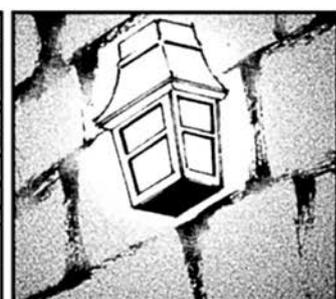
ふむ...

これで  
よし

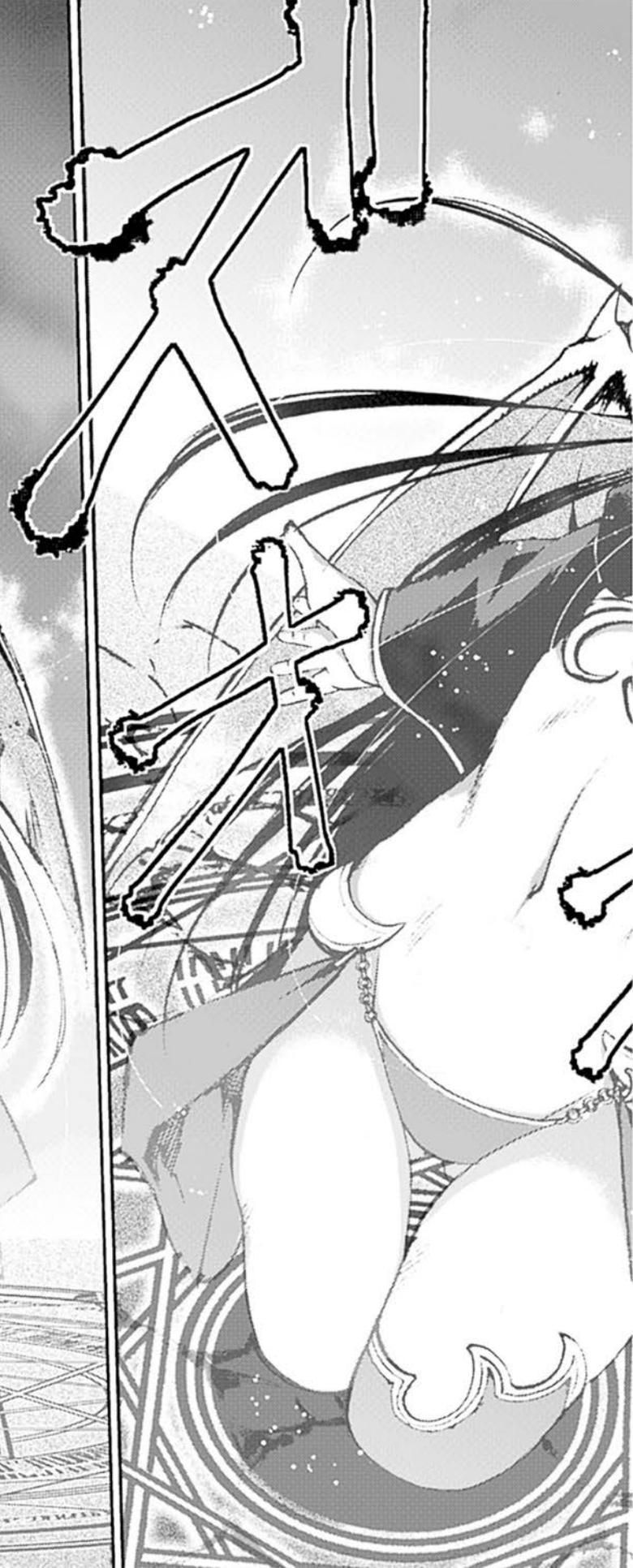
ふむ

こんなもんか









…わたしを  
呼んだのは

あなた？

…そうだ

そう…  
じゃあ呼んでくれた  
御礼にとびきりの  
夢を見せてあげる

この魔法陣を  
消して  
もらえる？

このままじゃ  
その素敵な唇に  
キスする事も  
できないわ

それは  
できないな

その魔法陣を消せば  
お前はすぐさま  
俺の魂を奪い  
魔界に戻る気だろう

消すのは  
契約を  
結んでからだ

チッ



で？

わたしは何を  
すればいいわけ？

これだけ魔力を用意  
できる魔術師が  
そんな手に引っ掛かる  
わけないっての



あーあ  
つまんないの

ちょっとした  
冗談じゃない



愚かな男達から  
精を吸い上げる？

それとも  
あなたの敵に  
無限の悪夢を  
見せてやる？



うむ

あなた自身に  
最高の夜を見せて  
あげるのもいいけど

お前には  
ダンジョンを  
作ってもらいたい



はい？

いまだかつて  
誰も見た事  
のないような  
深く広く  
凶悪な迷宮を  
無数の罫と  
怪物どもと財宝が  
待ち受ける  
大迷宮にしたい

はああ？

あのね  
わたし淫魔  
なんですけど

そんな肉体系労働  
ゴレムか  
ゴブリンにでも  
やらせなさいよ！

ふー

慌てるな

無論

穴を掘る作業は  
そういった  
者どもに任せる

だがそれ以外の  
膨大な作業を  
手伝う者が要るのだ

ダンジョンの  
通路や部屋は  
どのように配する？

罠と怪物どもは？  
守衛となる魔物も  
生き物なら餌がいる  
その調達は  
如何にする？

我が迷宮が大きくなれば  
それを脅かそうとする  
不屈き者も出るだろう  
その様な輩への対処は？

考えるべき事  
すべき事は無数にある  
それを……  
貴様に手伝って  
もらいたい

……  
それは  
分かったけど何で  
わたしなわけ？

理由は  
三つだ

まず第一に  
俺は人間を信じておらん  
人は必ず裏切る  
妖魔や巫人の類も  
それは同じだ

だがお前たち悪魔は  
契約を破る事は  
絶対にできない  
だから人間ではなく  
悪魔を選んだ

第二に通常悪魔は  
高位になるほど  
高い力と知恵を持つが  
その分契約や存在の  
維持に大量の魔力が  
必要だ

お前達悪魔は  
人間の欲望と精を  
吸い取ることを生業とする  
さほど強くない代わりに  
必要な魔力に比して賢く  
人間の感情の機微にも聡い  
だから淫魔を選んだ

……第三に……



ふうん…

なるほどね

どうせ傍に置くなら  
見てくれだけでも  
美しく若い女が良い

だから  
お前を選んだ



いいわ  
その仕事  
手伝ってあげる



あら

契約内容まで  
準備してあるの  
用意がいいわね

ではこの契約に  
名をもって  
同意してくれ

サイン



俺を陥れるのを  
防ぐための  
条文だ

一体何条  
あるのよ  
コレ!

……って  
**細か!**

極端にお前の  
不利になる  
条文はないから  
安心しろ

そんな事  
しなくても  
裏切ったり  
しないわよ

あー  
字細かくて  
読みづらい

じゃ  
契約するわよ



汝サキュバスよ  
この契約に従い  
名をもって  
我が力となるか?

我が名  
リルシャーナにかけて誓う  
契約に従いあなたに  
力を貸しましょう

ならば我が名  
アイン・ソフ・オウルにおいて  
この契約を守る事を誓おう



ではこれから  
よろしく頼むぞ  
俺の事は  
オウルと呼べ

はいはい  
わたしは  
リルでいいわ  
よろしくねオウル



…ところで

さっきから  
気になって  
ただけど  
…これ何

これか

そうだな  
「ダンジョンコア」  
とでも呼ぼうか  
これからの  
ダンジョン作りの  
核となるものだ



リル

魔力とは何か  
わかるか？

馬鹿に  
しないでよ

わたし  
これでも  
悪魔よ？

魔力は全ての  
「魔」に関わる  
ものの根源

魔法も魔物も……  
そして勿論  
わたし達悪魔も  
それを源にしてる

それが  
「魔」であり

「創造主」が作り上げた  
この世界を  
僅かでも捻じ曲げ  
汚し作り変えるもの

魔力であり  
悪魔ってわけよ



では

これは  
知っているか

魔力と言うのは  
土や大気 水 生き物……  
ありとあらゆるものに  
内在している

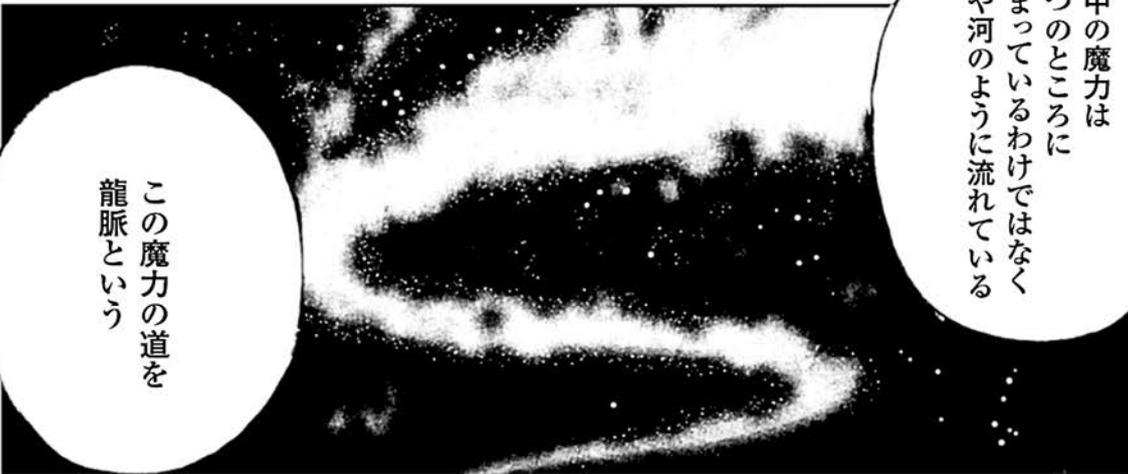


しかし

その大部分は  
地中に存在する



地中の魔力は  
一つのところに  
留まっているわけではなく  
道や河のように流れている



この魔力の道を  
龍脈という

…でそれとこれと  
何の関係があるわけ

今いる場所は  
その龍脈の真っ只中だ  
このダンジョンコアは  
その龍脈の魔力を  
吸い上げることができる

えもしかして  
この水…  
…魔力とか？

そうだ

嘘でしょお!?

液体状に  
なるくらいなの  
濃度の魔力なんて

並の魔術師じゃ  
振り絞っても  
一滴二滴が  
いいところじゃない!

こんな量  
人間の魔術師が  
扱える量を遥かに  
越えてるわよ…

それにこんなに  
近くにあるのに  
全然魔力の  
匂いがしないって  
どういう事?

こんな量の  
魔力が傍にあって  
匂いがしないなんて…

…簡単な話だ  
この瓶は完全に内部に  
魔力を閉じ込められる  
ようになってる

全く外に  
魔力が出なければ  
匂いもする  
わけはない

これだけの魔力  
人の身に宿せば瞬時に  
正気を失うだろうが  
必要な分だけ使うなら  
問題ない

完全に魔力を  
遮断って  
…すごい技術ね  
そんな事が  
本当に可能なの？

ああ  
我が70年に及ぶ  
研究の集大成だ  
ようやく  
ここまで漕ぎ着けた

70年で…  
あんた  
本当は何歳よ…

まあいいわ

大体納得した

こんな濃度の  
魔力を無尽蔵に  
得られるなら

それこそ  
世界を統べる事も  
可能かもしれない

…で  
ダンジョン作りって  
まず何から始めるの？



そうだな…  
まずは後ろを  
向いて  
手をその壁に  
ついてくれ

?

…うん?

ん?  
ねえ  
この体勢って  
まるび…

ひあ!

なんだ？  
まさか生娘だった  
などは  
言わんだろうな

なわけないでしょ！

……もうっ  
するんならするって  
ちゃんとやってよね

何もせずに  
突っ込んだのに  
随分濡れているな

でも意外ね……  
……ん……っ  
わたしを  
呼びつけて……  
……はあ……

そりゃ  
……んっ……淫魔  
だから……ねっ

いきなり  
ダンジョン作れ  
なんて言うから……  
……こういう事  
興味ないのかと  
思った……

それは誤解だ  
確かに  
今交わっているのは  
ダンジョン作りの  
一環ではあるが

それはそれとして  
俺はセックスに  
興味が無いわけでない

……あ  
……きこ  
……いい……っ

いや  
むしろ大いに  
興味があるぞ  
折角迷宮を作り  
力を手に入れても

あつ！

富も女も  
求めないでは  
何の意味も  
ないだろう？

なにそれ…  
…ふふはあ…  
…エッチしたいから…  
…んっ…  
ダンジョン  
作るって…わけ？

でもいいわ…  
…そういう事なら…  
…んふ…たっぷりと  
サービスしてあげる

ほう…

くう…淫魔と  
交わるのは  
初めてだが…  
…流石に凄いな

んふふ

…ありがと  
あなたのもの  
大きくて硬くて  
とっても素敵…

んっ 契約さえなければ  
このままカラカラに  
なるまで搾り取っちゃう  
ところなんだけど  
…ね



そりゃ  
サキユバスですから…  
…あん…  
…もっと泣き叫んで  
嫌がる方が  
お好みだった？

随分と  
余裕…だな



何…？  
今の…



では

!?

ジュンジュンのは  
どっだっ



悪魔の実体は  
常にこちらの  
世界とは隔絶された  
魔界にあるらしいな



イヤ…  
ダメ…！

意識や自我は  
こちらの世界に  
来てはいるが  
身体は魔力で作られた  
仮初(かりそめ)のもの

だから必要以上の  
苦痛を感じないし  
破壊されても  
元の魔界に戻るだけ…

魔力で作られている  
という事は  
魔力で干渉し  
作り変えることも  
できるという事だ…

というわけで  
お前も人並みに  
快楽を感じ乱れ  
気をやれるように  
してみた

ああ  
害になるような事は  
していないから  
安心してくれ

ま待つてえ  
ちよつと待つ…  
…んうっ！

あああああ！



馬鹿を言うな  
情交で死ぬ  
淫魔などいるか



ううう  
死ぬかと思  
った…  
あなた化け物？  
一体何回  
出したのよ…



…なんでこんなのが  
ダンジョン作りの  
一環になるのよ



まあそう拗ねるな  
何も無為にお前を弄んで  
楽しんだわけではない  
これも大きな目で見れば  
ダンジョン作りの一環だ

ダンジョンコアは  
龍脈から  
魔力を汲み取る

溜まっている量も  
汲み取る速度も  
まだ大した量では  
ないが

体力を回復  
させる程度の  
魔術であれば  
無制限で使える  
程度ではある

魔力で体力を  
補いながらならば  
半永久的に  
お前とまぐわって  
いる事も可能だ



ポウ..



がそれもこの迷宮内  
ダンジョンコアの  
すぐ傍でだけの事...

そこでだ



このように  
お前の身体へ俺の魔力を  
精と共に仕込んだ  
つまり移動型の  
小型ダンジョンコアだな



しかし流石悪魔だな  
許容量一杯まで  
魔力を溜めるのに  
一晩かかったぞ  
これで当分  
大丈夫だろう

ふざけるな  
あああ

な何故  
怒る

あーもう  
この馬鹿  
殴りたい！

契約で危害  
加えられないから  
殴れないけど  
すっごい殴りたい！

あああ





というわけで

これから  
あの村を  
襲撃する



では改めて  
確認をしよう

俺はある程度魔術を  
修めてはいるが  
その研究の大半は  
ダンジョンコアに  
費やされたものだ

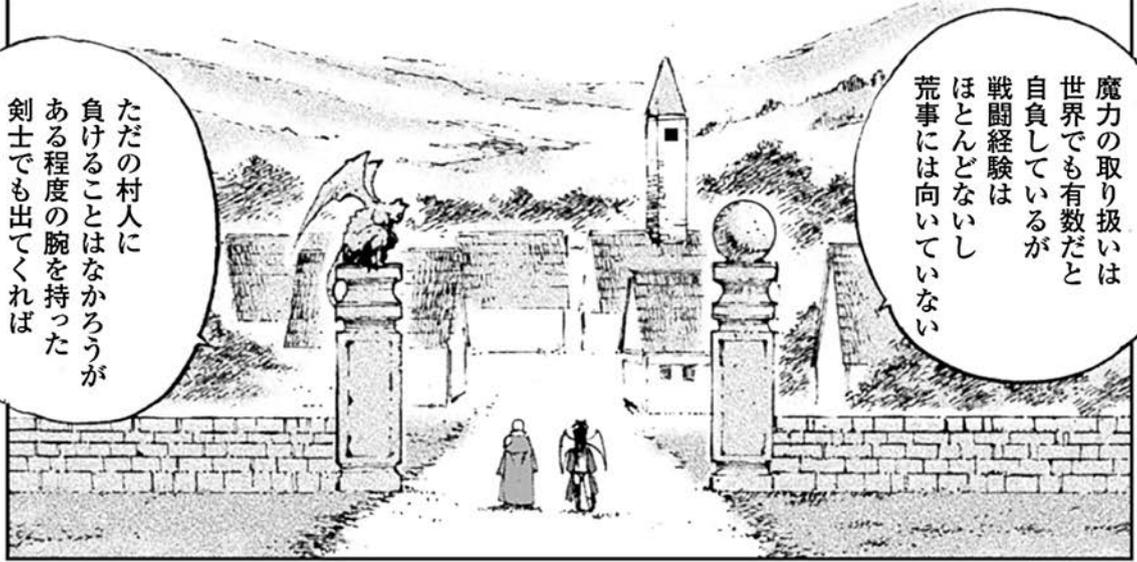


…いい加減  
機嫌を直さないか？

別に機嫌  
悪くなんてない

魔力の取り扱いは  
世界でも有数だと  
自負しているが  
戦闘経験は  
ほとんどないし  
荒事には向いていない

ただの村人に  
負けることはなからうが  
ある程度の腕を持った  
剣士でも出てくれば  
少々辛い



つまり  
お前だけが  
戦力という事だ  
頼んだぞ

いいわ

皆殺しに  
してやる!



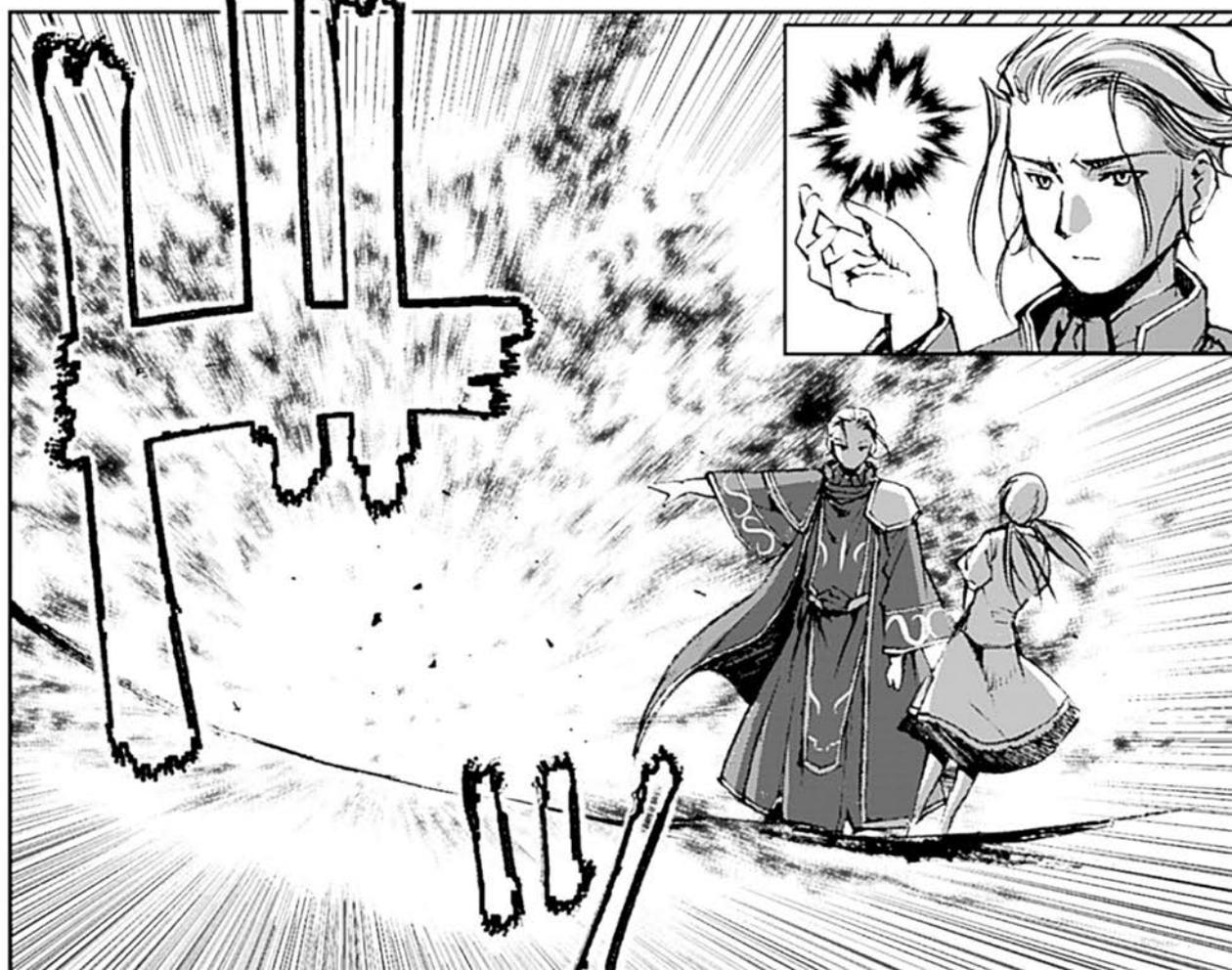
待て

よし  
じゃあまず  
一人目…



なに  
すんのよ!





二度は言わぬ  
村全てを灰燼に  
帰したくなければ  
急げ



めんどくさいな  
問答無用で皆殺しに  
しちゃえば  
いいんじゃないの？



とは言え  
逆らうなら  
容赦はせん

…そしてこの村は  
逆らうだろうな

殺さない方が  
使えるからな

お待たせしました





オウル様…なんでも  
貢物をご所望との  
話ですが…



ああそうだ  
こちらの  
要求を  
呑めばよし

呑まぬならば  
この村には  
灰になって  
もらう事になる

それはそれは  
恐ろしい…  
…もちろん  
納めさせて  
いただきます





…鉄の剣で  
良ければなッ!



チッ

かわしたか



端はなからこちらに  
従う気などなかった  
ということだ

とはいえ  
お前のような50にもならん  
男が杖をつけて歩いては  
せつかくの暗器が  
バレバレだろう

リル  
俺を守れ

ちよっと!  
どういいう事よ!?



…アンタを  
殺した後でな！

ご忠言痛み入る  
次からは気をつけるさ…

く…！

こいつ  
強い……！

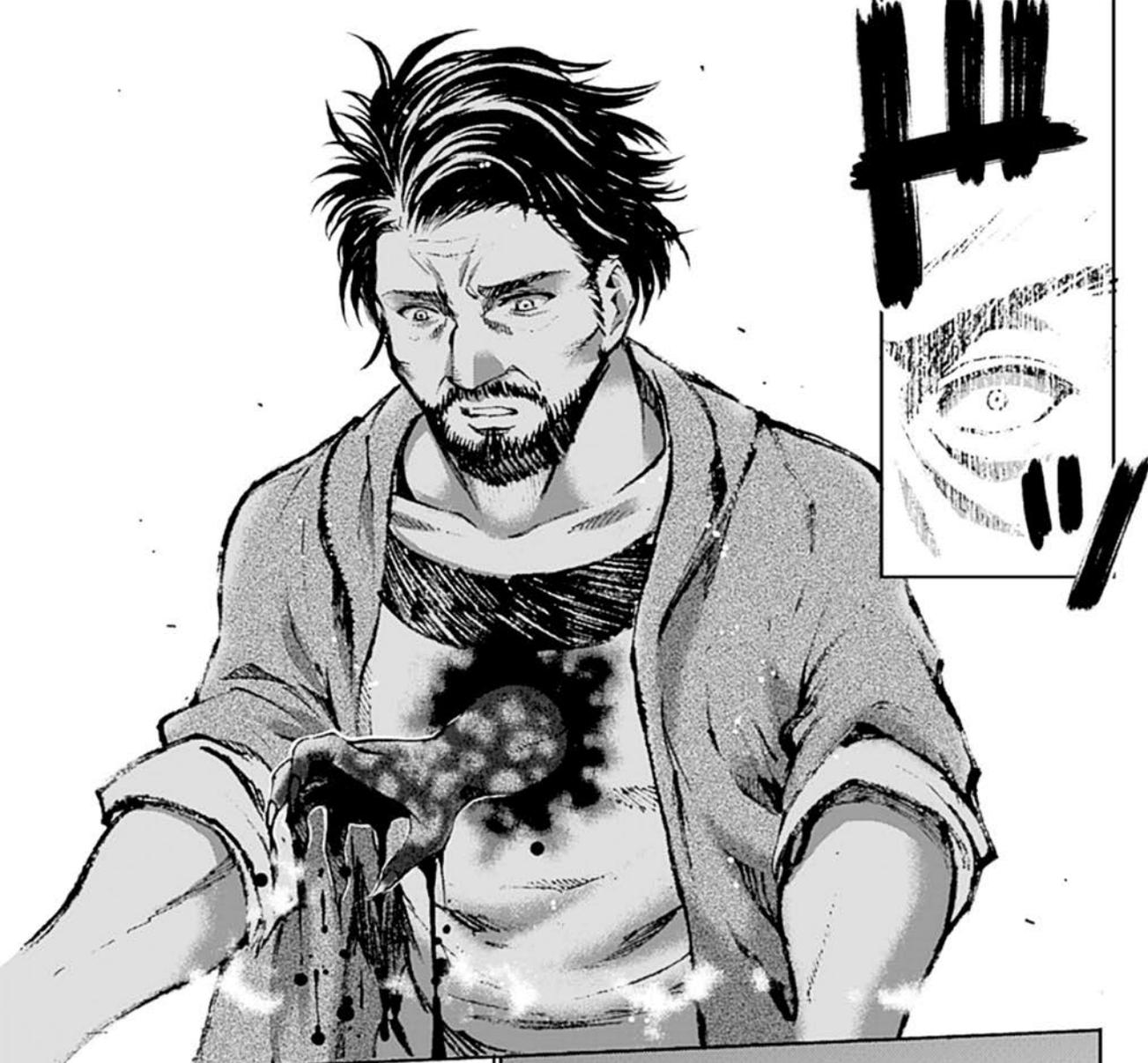
わたしじゃ  
敵わない  
逃げよう！

駄目だ

ハハハ！

じゃあな  
悪魔の嬢ちゃん  
恨むなら馬鹿な  
主人を恨みな

今だ  
殺せ





ぎやああああ！

いやあああ

ひいひい  
やめてくれええええ

た助けてえええ





ねえ

いつの間に  
ガーゴイル  
なんか置いたの？

村の石像を魔力で  
操ったのかと  
思ったら本物なのね  
びっくりしたわ

あれを置いたのは  
大体30年前だな

は？

この近辺に龍脈が  
あることは50年も前には  
気づいていたから  
足掛かりにする為  
行商に化けて  
魔除けの像として  
村に売りつけた

「なんと精巧な  
ガーゴイル像なんだ！」  
と喜んで買っていったよ  
当然だ  
本物なのだからな

そのガーゴイルを通じ  
村長の實力は知っていた  
あいつは元冒険者で  
昔はそこそこの知れた  
剣士だったそーだ

素直に従うはずも  
ないから  
殲滅しやすいように  
集まってもらったわけだ

なるほどね…

…本当  
あんた嫌になるくらい  
周到で狡猾ね

褒め言葉と  
受け取っておこう

さて  
始めるか

この数は少々億劫だ  
魔力をもらおうぞ

!



…一応言っておくが  
魔力を取り返すなら  
手を握るだけでも  
いいからな

あーそーですかー

ん…

この続きは製品版をご購入の上、  
お楽しみください。

編集・発行

## 株式会社キルタイムコミュニケーション

〒104-0041 東京都中央区新富 1-3-7 ヨドコウビル  
TEL.03-3555-3431(販売) / FAX.03-3551-1208

※本作品の全部あるいは一部を無断で複製・転載・配信・送信したり、  
ホームページ上に転載することを禁止します。  
本作品の内容を無断で改変、改ざん等行うことも禁止します。  
また、有償・無償にかかわらず本作品を第三者に譲渡することはできません。

©KILL TIME COMMUNICATION Printed in Japan

<http://ktcom.jp/>



閲覧 無料 ALL FREE

登録 不要 REGISTER FREE

新作書き下ろしコミック、ゾクゾク更新中!!!!

闘うヒロインが満載!!!!

バトルあり笑いあり  
お色気ありで360度、  
死角なしで全包围中!!

PCでスマホで無料で読み放題



今すぐ公式サイトにアクセス!

スマホ版も公開中です!!



<http://www.comic-valkyrie.com/>

Windows・Macを初めとするPCブラウザおよびiPhone・Android端末等でご覧いただけます。